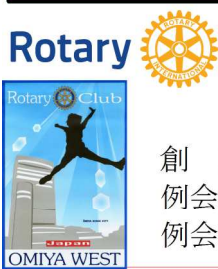


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2015～2016年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日 会 長 田口 修身 第2444例会 2015/ 9/14
例会場：パレスホテル大宮 幹 事 小木曾賢己 発 行 日 2015/ 9/28
例会日：月曜日12:30～13:30 会報委員長 藤嶋 剛史 会報当番 永井 伸剛

会長あいさつ

会長 田口 修身

皆さんこんにちは。先週はマリアナさんのウェルカムパーティーと新入会員の歓迎会の夜間例会でした。多数のご参加ありがとうございました。



今日は地区の職業奉仕委員会の青木様に「職業奉仕セミナーについて」という卓話を予定しています。よろしくお祈りします。

先週は、大雨による大きな被害が茨城県から宮城まで広い地域でおきました。

職業奉仕ということであれば、私の職業を通しての奉仕ということで少しお話させていただきます。私は、30年ほど外資系の金融機関で働いていました。いろいろな業務をしましたが損害保険の仕事が一番長く携わりました。今回の大雨の被害から財産を守るの一般的な火災保険です。火災保険は火災のみならず自然災害のリスクも補償します。昨年の2月の大雪では家のひさしが壊れた、カーポートが潰れたなどは火災保険での支払です。

今回の堤防決壊による水害、昨年の広島での土砂崩れは水災で支払います。注意しなければならないのは水災については保険契約の際つけることも外すことも出来ます。水害のリスクの低いお客さんには水災を外すと保険料も2.3割安くなります。しかしながら、今回のような災害を見ますと安易に水災をはずしましょうといえないと思います。

また、10月から火災保険で大きな改定が2つあります。ひとつは、ここ数年天候不順で自然災害の支払が多発しているため保険料のアップです。もうひとつは長期契約が最長10年までになります。長い間、火災保険は保険会社にとって安定したドル箱商品でしたが、怪しくなってきました。予期せぬ大き

な災害に見舞われることが多くなってきているためです。30年もの長き期間のリスクを取る事については、再保険を受ける海外の保険会社からみると、日本の保険会社は異常と見られています。

次に、リスク分散で保険を購入する皆さんからすると、水害などのリスクは50年に一度の雨でも水害に遭わない土地かどうかの見極めをして加入する必要があります。今日は今まで仕事としてきたことが、皆さんに少しでも参考になればと思ってお話しました。

今日の例会も盛りだくさんですがよろしくお祈りします。

お客様ご紹介 新井清太 副会長

越谷東ロータリークラブ

青木伸翁 様

幹事報告

幹事 小木曾賢己



今後大きな行事がありますので、ご確認をお願いいたします。

- 10月31日(土) ピンクリボン運動
(ロータリーデー 社会奉仕委員会担当例会)
- 11月14日 地区大会 第一本会議
(浦和ロイヤルパインズホテル)
11月15日 地区大会 第二本会議
(さいたま市文化センター)

詳細につきましては案内文書をFAXでお送りいたします。

- 11月29日～30日 親睦旅行例会(金沢方面)
詳細につきましては随時親睦委員会よりご連絡いたします。

積極参加でロータリーを楽しもう!

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

委員長報告

会員増強維持部門 高橋誠一 委員長



皆さん、こんにちは。会員増強維持部門長の高橋です。9月末までに会員を40名増やしたいと、思っています。皆様是非お一人が、一人の紹介を9月中にお願い致します。

大宮西ロータリークラブの会員を130名にしたいと思います。

青少年奉仕委員会 北井俊一 委員長



先週はマリアナさんの歓迎例会有り難うございました。2次会で有志の皆様カラオケに連れて行って頂き、『水を得た魚』の如く大変盛り上がっていました。お蔭様でホームステイ先について目鼻が立って参りました。未だ全て決まった訳ではないので、ご協力頂ける方はご連絡下さい。

また、後日『ホームビジット』のご案内をFAXさせて頂きます。ホームステイと異なり、日帰りで交換留学生を家庭に招き気軽に交流を楽しむ主旨です。希望者は是非ご連絡下さい。

以上今後とも宜しくお願い致します。

親睦委員会 染谷義一 委員長



親睦委員会の染谷です。8月にご案内させて頂きました11月の親睦旅行、多数のご参加ありがとうございました。不参加の方でもご都合がございましたら遠慮なくお声を掛けて下さい。早い内でしたら対応してみます。引き続き宜しくお願い致します。



親睦活動委員会 竹内雅人 委員

中牟田 久(3日)、吉田 繁(9日)、川村郁夫(12日)、内山泰成(18日)、永井伸剛(18日)、新藤耕四郎(22日)、山田 修(25日)、藤池誠治(29日)、林 正(30日)、小峯宣昭(30日)、各会員



代表して、林 正 会員から
ご挨拶いただきました。



ロータリーの友

広報・雑誌委員会 藤井公房 副委員長



今年度より日本独自の月間として9月は「ロータリーの友月間」となりました。井原ガバナーからの一押し情報に従って今月のポイントをご紹介します。

まず**横組み**からです。

P3のRI指定記事では「ロータリーグローバルワード」の趣旨がよくわかります。少し面倒ですがMy Rotaryに登録してご活用ください。

P8からロータリーの友創刊の秘話です。主婦の友から名前を取ったのは驚きです。戦後間もない時に英語のカルチャーである横書きにしたのは先端的でした。

P12には基本的教育と識字率向上の記事、読み書きできない成人が7億人以上いて2/3が女性、日本では実感できない数字です。

P14以降には例会の食事エピソード、浦和RCは和洋中のチョイス可能とのことですが、私たちの大宮西RCは毎回デラックスのようで恵まれています。

その他、横組みからは、2500名集めた三郷中央RCのチャリティ相撲、広島 of 被曝樹木、ロータリー希望の風奨学金、ポリオがナイジェリアで無発生1年などを紹介しました。

縦組みからは、

P4から「東日本大震災から伝えたいこと」で陸前高田でなぜ犠牲者が多く出たのか、そして教訓がまとまっています。駐車場で出口に発車できる向きに止めること、家族の携帯に親戚の固定電話番号を入れておくこと、心がけたいと思います。

P13には昨年度37名の会員増強をして101名の大規模クラブになった高崎RCが出ています。来年は大宮西RCが紹介されると良いですね。

最後に、**表紙の写真**ですが、12月から3月、5月の入選がなく再募集中だそうです。ふるってご参加ください。

ゲスト卓話

『職業奉仕について』

越谷東ロータリークラブ
青木伸翁 様



人生を変えてくれた「ロータリーの奉仕の理念」

私の人生を変えてくれたものが三つあります。一つは「家族の病気」一つは「不景気」そして「ロータリーの奉仕の理念」。先の二つからも大変多くのことを学ばせて頂きました。そして、想いもよらなかったロータリーから、最も大きなことを訓えて頂いたと言っても言い過ぎではないと思います。

私は今28年目のロータリーですが、最初の13年はただのロータリークラブの会員であったと思います。不景気のまっただ中でどうしても受けざるを得なくなった「クラブ会長」、これが私を本当のロータリアンに変えるチャンスを与えてくれたのです。家族の病気を抱え、不景気の中での会社経営そしてロータリークラブの会長職と、当時はえいやっと破れかぶれの感もありましたが、どうせやるなら、という気持ちで、すべてに精一杯やってやろうとの思いで取組み始めました。ロータリークラブの会長をやることにはなりましたが、考えてみると、ロータリーのことは何も知らない自分にすぐ気が付きました。

1999年の終わりのころです。残念ながら私の周りにはロータリーの本質を訓えてくれる方はいませんでした。いや、きっとそれを知っている先輩はたくさんいたのですが、語ってくれなかったただけなのだと思います。有難いことに当時「インターネットの世界」が広がり始めたころでした。日本中のクラブのホームページを覗き、時には北海道、九州、四国、関西のロータリアンとコンタクトしました。

全国には心優しい素晴らしいロータリアンがたくさんいます。その方たちが親切に訓えてくれました。その結果、驚きました。私がそれまで思っていたロータリーと全く違ったロータリーがそこにはあったのです。ロータリーは何か良いことをやる人の集まり、所謂、ボランティア、奉仕団体だと思っていたのが、それは一部であって、その本体は別にあったのだと思いました。

ロータリーは人がどう生きたら幸せに生きられるのかという答えを訓えてくれていたのです。決議23-34号に書かれています。それは

「SERVICE ABOVE SELF」

「HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST」

「超我の奉仕」

「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」

この二つの言葉に凝縮される「奉仕の理念」決議34号に書かれている通り、「ロータリーは人生哲学」だったので。

私はこの二つは全く同じことを言っているものだと思います。ポール・ハリスは「奉仕の理想」とは「先ず、人に与えることから始めること」だと言っています。最も良く奉仕する者の「奉仕」を私は「思いやりの心」と置き換えています。自分のことと同じように他人を大切に、他人に思いやりの心をもって言葉をかけたり、何かをしてあげることが最も大切だと、ロータリーは訓えてくれるのです。そして、これが出来ると、結果としていつか何か良いことがありますよと訓えてくれるのです。これが我々ロータリーの「奉仕の理念」なのではないでしょうか。

「奉仕の理念」を社会に対して適用すれば「社会奉仕」、国際社会に適用すれば「国際奉仕」、そして、職業社会に適用すれば「職業奉仕」ということになるのです。

しかし、人間は賢い反面愚かなところもあります。「奉仕の理念」が解ったと思っても、それによって何時でも生きることが出来ないのが人間なのではないでしょうか。そういう自分に足りないところを他人から謙虚に学ぶところ、それが毎週開催される「ロータリーの例会」なのです。解ったつもりでもそれで生きることが出来ない自分を、仲間と共に「切磋琢磨」し合いながら、少しでも高い境地を目指し努力するのがロータリーなのではないでしょうか。

まだまだ足りない自分、死ぬまで勉強できることが幸せなことと思ひ、いつか本物のロータリアンになりたいと思っています。



9 / 7 新会員研修会報告

会員研修委員会

伊田雄二郎 委員長(講師)

9/7(月)17:00～ パレスホテル大宮にて新会員研修会を開催致しました。

対象者：2015年4月6日以降入会者及び希望者

出席：永井伸剛、山田 修、海保邦男、浅間重行、兼杉統治、竹内雅人、齊藤政春、柴木健之、各会員、田口修身会長

～次回例会案内～

次回例会では、誕生祝いやロータリーの友解説のほか、久々のインシエーションスピーチを行います。ぜひご参加下さい！